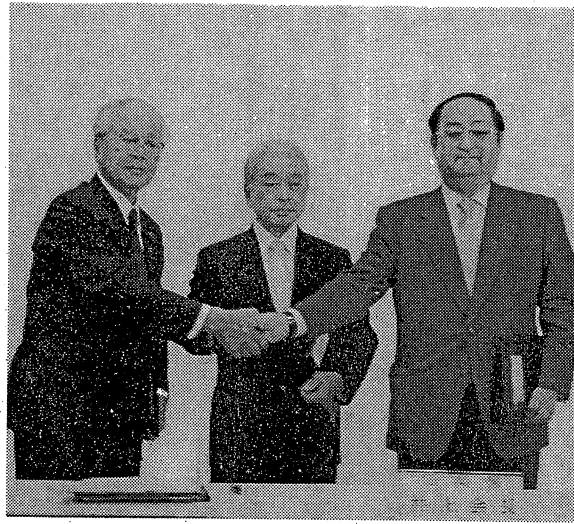


調印式で握手する3県の建設業協会会長



甲信越3建協が災害協定

初代会長に 井上氏選任

安心安全づくり強調

新潟、長野、山梨3県の建設業協会による災害対策連絡協議会が15日、山梨県富士吉田市内のホテル鐘山苑で開かれ、設置要綱が承認されることにも、「災害時における相互応援に関する協定書」の調印式が行われ、同日施行された。



初代会長に選任され
あいさつする
井上勲・山建協会長

調印式に先立ち、開催 梨県建設業協会会長が「20県を代表して井上勲・山」回目を迎えた3県連絡協議

会の記念すべきこの日に災害対策設立協議会を迎え、調印できたことは、遅きに亙った感があるが大い絆を結ぶ記念すべき日となったことは誠にありがたい。今後はあらゆる面で防災意識の向上をより一層高めていきたい」と力強く挨拶した。

長が持ち回りで会長職を努めることが了承された。災害協定調印の最大のきっかけは、新潟県中越における2度の大地震、長野県岡谷市における急傾斜地大災害、山梨県におる東海地震の強化対策指定などによるもので、記者会見に臨んだ3県建設業協会会長は「社会資本整備を基本に国民の安心・安全づくりの使命とあわせて、国民の生命、財産を守る宿命がある」との認識で一致し、初動対応の大切さと道路の確保の重要性を強調した。